

令和7年度第1回学校運営協議会

令和7年4月23日

※ 任命書の伝達

- 1 学校運営協議会委員・事務局の自己紹介
- 2 学校長あいさつ
- 3 学校経営計画について
- 4 令和7年度学校行事計画について
- 5 学校応援団について
- 6 会議録の承認
- 7 今後の学校運営協議会の開催日程（場所、第2図工室）

第2回	6月7日（土）	9：30	※学校公開参観後、会議
第3回	11月21日（金）	10：30	※七小まつり参観後、会議
第4回	2月5日（木）	13：30	
第5回	3月11日（水）	13：30	
- 8 学校長より

1 はじめに

『はじめに子供ありき』

私たちは、何よりも子供への対応を第一に考え、人間として子供に規範を示す教師、子供を感化する教師であり続けたいものです。最大の教育環境は教師そのものです。

また、一人一人の子供のよさをさらに伸ばす教育、希望を持って学び続ける子供が育つ教育、一人一人の子供の居場所のある教育など、温かく丁寧な教育を目指したいものです。

教育は、教師の深い愛情と情熱、教えることへの強い責任をもってこそ達成されます。

教師一人一人の教育観や個性は尊重し、大切にされるべきではありますが、その一方で、学校は経営体であり組織体であります。朝霞第七小学校の組織としての力を十分結集・発揮する中で、学校力を向上し、特色ある学校を創り上げていきたいものです。

2 学校教育目標

「心豊かにたくましく生きる児童の育成」

考える子（知）

思いやりのある子（徳）

たくましい子（体）

3 目指す児童像・学校像・教師像

（1）目指す児童像

知・徳・体のバランスのとれた人間性豊かな児童

◎授業で力を発揮し高め合う児童（学び合い）

◎優しい言葉がけができる心豊かな児童（認め合い）

◎進んで活動し心身を鍛える児童（高め合い）

（2）目指す学校像

「一人一人の良さを伸ばし、未来に向かって学び合い、高め合う学校」

◎教職員が意図的・計画的・組織的に教育活動を行う学校（共通理解と共通行動）

◎できる喜びを体感させ、一人一人の力を高め合う学校（児童の学力・特性、教員の指導力）

◎創意工夫ある教育課程の編成・実施で特色ある教育を推進する学校

◎保護者・地域との協働による信頼される学校（コミュニティ・スクール）

◎安心・安全で活気と潤いのある学校

（3）目指す教師像

児童・保護者・地域から信頼される教師

◎授業に情熱を注ぎ、楽しい授業を実践する教師（高い専門性）

※ 楽しい授業とは… 「わかる喜び・できる喜び」を体感する授業、「?・!」のある授業、「児童が主体」の授業(体験・対話・協調・追究)

※ 授業改革の視点… 「主体的・対話的で深い学び」

「個別最適な学び」(一人一台端末等の効果的な活用)

「個に応じた指導」(指導の個別化と学習の個性化)

- ◎児童に寄り添い、きめ細かな指導ができる教師（一つ一つの指導を完結させる）
- ◎人間的な魅力にあふれ、自己研鑽し続ける教師（豊かな人間性）
- ◎働き方改革による心身ともに健康で逞しい教師
- ◎教育公務員として、自覚と誇りを持つ教師（揺らぎのない使命感）（教職員事故の絶無）

4 学校経営方針

- (1) 学校教育目標の実現に向けて、意図的・計画的・組織的な教育活動を実践する。
- (2) 教職員一人一人の持ち味を生かし、活力ある学校づくりを行う。
- (3) 教育の専門職としての使命感を持ち、教育活動に情熱を注ぐ教員を育成する。
- (4) 保護者・地域との協働による信頼される学校づくりを行う。
- (5) 安心・安全で活気と潤いのある学校づくりを行う。

5 今年度の重点目標

(1) 学習指導の充実と学力の向上

◎学習指導要領の着実な実施

- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業
- ・「全ての児童の可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びを一体的に充実する」
- ・学習のめあての明確化、学びの道筋の提示、振り返り場面の設定（UDの視点）
- ・子どもとともにつくる学習課題、まとめ・ふりかえりを子どもの言葉で書かせる授業づくりを日常とする。
- ・伝え合う場・深め合う場の設定（主体的な活動場面の設定、言語活動の充実）
- ・協働的な学びでは、子ども同士や大人も含めた他者との話し合いを充実させる。

◎教科担任制の実施

◎授業規律の徹底

- ・授業スタンダードの確立（あいさつ・挙手・返事・発言等のルール）
- ・「時を守り 場を清め 礼を尽くす」

◎学ぶために必要な5つの力を育成する。

- ①他人の話を聴く力 ②集中して学習する力
- ③なぜ・どうしてと疑問をもつ力 ④丁寧に学習する力
- ⑤わからないことを聞く・調べる力

◎校内研修の充実（授業改革、タブレット端末等の効果的な活用）

(2) 学年・学級経営と生徒指導・教育相談の充実

◎児童の特性を理解し、相互に認め合い、高め合える学年・学級経営（自己有用感の醸成）

◎いじめ、不登校、問題行動の防止・早期発見・適切な対応・確実な見守り、見届け

- ・いじめの防止基本方針の見直し、周知及び徹底
- ・心と生活アンケート等の定期アンケート、面談の実施による早期発見、適切な対応
- ・実効性あるいじめ防止対策会議の運営
- ・不登校対応指針の活用（不登校段階別アプローチプラン）
- ・関係諸機関との連携、活用

◎組織を生かした迅速できめ細やかな生徒指導（3つのワーク）

- ・報告・連絡・相談・見届けの徹底と組織的な対応

- ・関係諸機関との連携強化
- (3) 道徳教育・人権教育の充実
- ◎道徳的な心情、判断力、態度を育成する道徳授業の実践
 - ・道徳的価値の自覚及び自己の生き方について考えを深める授業
 - ・「考え、議論する道徳」の実践
 - ・ポートフォリオの手法を活かした評価
 - ◎人権意識の醸成と他人を思いやる豊かな人間性の育成
 - ・いじめの防止・早期発見・迅速な対応・問題解消の見届け
- (4) 体力向上と健康増進
- ◎体育授業・体育的活動の工夫と充実、運動強度や機会の確保
 - ◎保健指導、健康教育の充実
 - ◎新体力テストによる効果の検証と継続的な改善
 - ◎食育・給食指導の充実
 - ◎食物アレルギー等の適切な対応
- (5) 特別支援教育の充実と配慮を要する児童の支援
- ◎特別支援学級の尊重と「心のバリアフリー」の推進
 - ◎通常学級における配慮が必要な児童への支援
 - ◎全教員の共通理解と組織的な対応（コーディネーターの機能と校内体制の充実）
 - ◎関係諸機関との密接な連携（行政、大学、医療機関など）
- (6) 学校・家庭・地域が一体となった教育の実施
- ◎地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）の充実
 - ◎PTAや学校応援団等との連携
 - ◎地域の教育力の活用、地域人材活用事業
 - ◎積極的な情報発信（学校公開、学級懇談会、各種たより、連絡アプリ、ホームページ等）

校内の報・連・相を大事に!!

明るく楽しい職場を!!

1 事故を防止し、信頼される学校を築くために

(1) 教育公務員としての自覚と責任

- 全体の奉仕者、憲法・法令等の遵守（コンプライアンス）
- 児童の手本として留意を（挨拶・服装・態度・言葉遣い等）
- 外来者への対応や電話対応にも丁寧に心づかいを

※ ☎：「はい、朝霞第七小学校 （名前）です。」

(2) 安定した教育課程の「質」と「量」の確保

- 年間指導計画に基づいた指導
- 学年・教科・分掌内での情報交換を密に
- 授業内容や指導方法、評価結果は説明責任を果たす

(3) 信用失墜行為を絶対に起こさない決意

- 体罰や不適切な言動（言葉の暴力）・セクハラ・飲酒運転などの非違行為の絶無
- 自らを守り、家族を守り、同僚・学校の信用を守る

(4) うっかりミスや不注意による事故防止

- 交通事故、盗難、紛失等は自己管理の徹底を
- 個人情報保護の徹底を
- 外部に発出する文書は複数で確認を
- お互いに注意し合える温かい人間関係の醸成を

「えっ?」、「あれっ?」、「ちょっと・・・?」は危険信号

(5) 安全確保のための条件整備

- 安全点検と速やかな組織的対応
- 安全教育・防犯教育の充実
- 登下校の安全指導

2 お互いに気持ちよく勤務し、規律ある職場環境とするために

(1) 職員同士も率先して元気な挨拶を

- 気持ちよい挨拶は相互理解のはじまり

- (2) 職員室は職員の執務室のため、声の大きさはほどほどに
 - 電話中や考えごとをしている職員、来校者もいるので、周囲への配慮を
 - 必要なコミュニケーションは大切に確実に
 - 問題点からできる改善方策を見出して実践する
- (3) 職集・職員会議・学年会議はポイントを絞って簡潔に
 - 限られた時間をできるだけ有効に
- (4) 施設設備・備品の故障等は早めに連絡を
 - 教頭・事務職員・安全担当等との連携
- (5) 気軽に話し合え、支え合える人間関係
 - 一人で悩みや問題を抱え込まずに相談を
 - 職員の豊富な経験やアドバイスを相互に伝え合う
 - 効率的な職務遂行を行うために、協働の意識を持つ

< 「信頼」を構築するために >

(1) 児童から「信頼」される教師)

- 人を育て、教える厳しさと温かさのある教師
- 自己の使命を自覚し、研究と修養に努める教師
- 豊かな人間性を持ち、児童とともに歩む教師

<ul style="list-style-type: none"> ・凡庸な教師は、ただしゃべる ・よい教師は説明する ・優れた教師は行動する ・偉大な教師は、心に火をつける
--

ウィリアム・アーサー・ウォード^①

(2) 保護者から「信頼」される教育

- 社会の変化に主体的に対応できる能力の育成（学力の定着と向上）
- 社会生活に必要な人間的資質の育成
- 困難な状況でも粘り強く頑張り抜ける逞しい心身の育成

(3) 地域から「信頼」される学校

- 元気に挨拶ができる明るい学校
- 地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）

3 働き方改革の推進

(1) 学校改革（学校業務・学年業務・分掌業務）

(2) 自分改革（教科指導・学級経営・その他）

- ※ 仕事の取捨選択と費用対効果の考察（タイパ、コスパ等の多様な観点）
- ※ 勤務時間の自己管理（**超過勤務 月45時間未満、年間360時間未満**）
- ※ 先生方にとって今しかできないことがある（プライベートも大切に！）



令和7年度 4月号

朝七小だより

朝霞市立朝霞第七小学校

〒351-0036 朝霞市北原2-6-1

TEL 048-472-9172 FAX 048-476-1327

E-mail 7shou@asaka-s.ed.jp

学校教育目標 『心豊かにたくましく生きる児童の育成』 ○考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

目指す学校像 一人一人の良さを伸ばし、未来に向かって学び合い、高め合う学校

「一人一人の良さを伸ばし、未来に向かって学び合い、高め合う学校」

校長 田中 誠

進級おめでとうございます。そして、明日、ピカピカの1年生が入学してきます。入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

新1年生112名を迎え、全校児童700名、25学級で、令和7年度がスタートしました。申し遅れましたが、私は、鈴木 康之前校長の後、第20代校長として着任しました田中 誠（たなか

まこと）と申します。700の宝をお預かりし、教職員が一丸となり、チーム朝七小として教育活動にあたり、700の宝を磨き、光り輝くよう、努めてまいりたいと思います。

本校の学校教育目標は、『「心豊かにたくましく生きる児童の育成」 ○考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子』です。これは、「知・徳・体」を表していますが、新学習指導要領でもその育成をめざしている、世の中を主体的、創造的に生きていくために必要な資質・能力である「生きる力」、「生き抜く力」に結びつくものです。また、めざす学校像を「一人一人の良さを伸ばし、未来に向かって学び合い、高め合う学校」としています。今年度、保護者の皆様、地域の皆様のお力を借り、ともに手を携えて、この学校教育目標、めざす学校像の実現に向けて、取り組んでまいります。その中で、七小を応援してもらえよう本校の教育活動を公開していきたいと思ひます。

授業では、一人一人の児童の学習の状況に応じて指導方法や扱う教材などに柔軟性を持たせる「指導の個別化」と、個々の児童の興味や関心に応じて、児童自身の学習活動が最適となるように調整する「学習の個性化」の観点から授業の工夫改善を進め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践に取り組んでまいります。その際、学習ツールの一つとしてタブレット端末の活用を推進していきます。また、一部教科担任制、低学年補助教員やスクールサポーターなど、一人一人の児童に寄り添いきめ細やかな支援を行ってまいります。

また、子供たちが「学校に行くと楽しいことがある」と思えるような居場所があり、学びに向かえる環境づくりが重要であると考えます。もちろん学校は集団生活の場なので、楽しいことだけでなく、時には我慢しなければならなかったり、互いの意見を擦り合わせたりしなければならなかったりすることなどありますが、それも学校だからこそできることです。組織的な生徒指導対応を充実させ、特別活動や道徳授業を通じて、円滑で良好な人間関係を構築し、相互に認め合い、高め合える集団づくりを進めてまいります。

どうぞ、保護者、地域の皆様には、本校の教育活動をご理解いただくとともに、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



